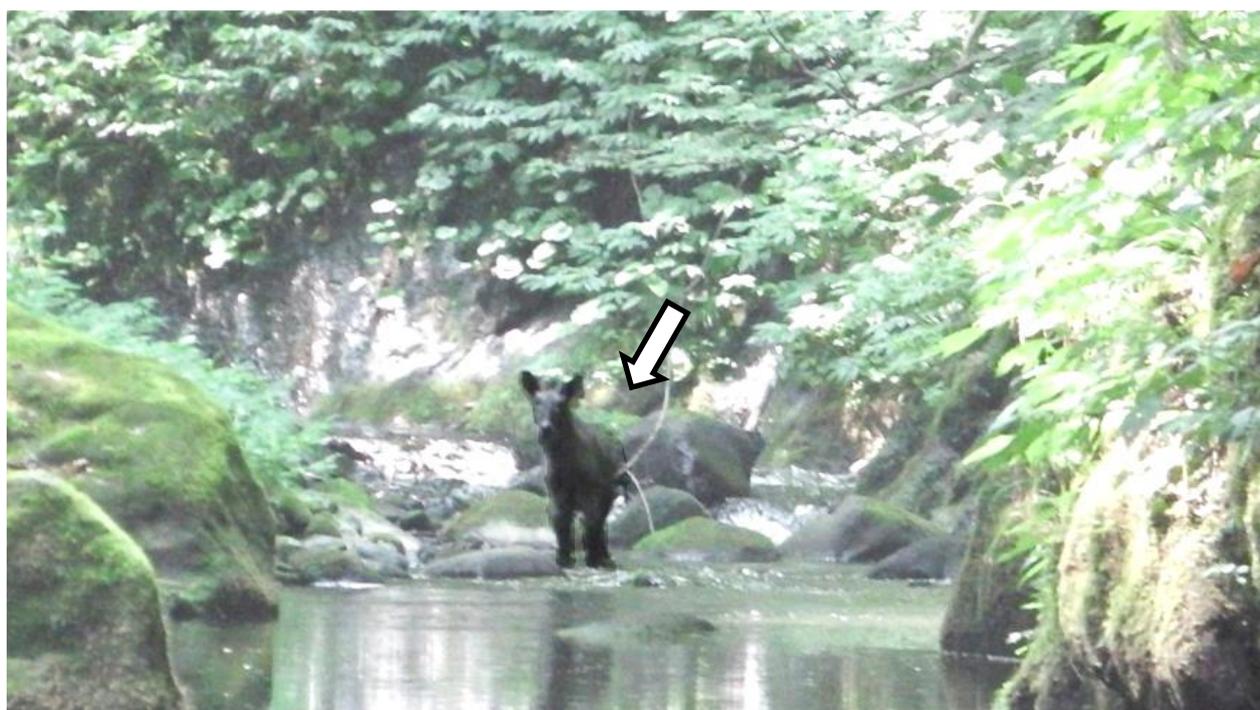




## 教育センター・育成センター所報

# GALILEI



研修の一場面「谷根川上流溪流ウォーク」でカモシカに出会いました

## CONTENTS

- 今月の巻頭言…………… P 1
  - ★地味で平凡な恩返し
  - 柏崎市教育委員会  
教育部長 猪俣 哲夫
- 教育センターだより…………… P 2
  - ★アクセス（教育研究班）…………… P 2
  - ★プロジェクト K（科学技術教育センター）…………… P 6
  - ★心の窓（教育相談班）…………… P 10
- 10月の行事予定表…………… P 12
- 所員随想「つれづれ」…………… P 12
  - ★秋になると 教育研究班（科学） 阿部美江

平成27年9月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

## 地味で平凡な恩返し

柏崎市教育委員会  
教育部長 猪俣 哲 夫



国には感謝している。

40年前、私は家を離れて大学生になった。当時も今も子どもを大学に入れるのは大変なことだが、親はなんとか送り出してくれた。こちらとしても家の台所事情がわかるものだから、少しでも迷惑をかけまいと可能な制度を利用することとした。

まず奨学金だ。日本育英会（今の日本学生支援機構）の特別奨学金は月18,000円。4年間借りて、これを返済するときには普通奨学生の貸与額で済んだ。つまり無利子の上に、さらに一部免除してもらったわけだ。

次に、授業料である。当時の国立大学は年額96,000円で、大学3年から144,000円。今からは考えられないくらい安い金額だ。それを、特例措置のあった1年の前期分18,000円と4年後期の72,000円払った以外は、免除を受けた。ほとんどただで学ばせてもらったようなものだ。

あとはまあ、仕送りとバイトでなんとかしのいだ。さりとて、まったく貧しいだけの大学生かといえればそれほどでもなく、山登りやスキーであちこちに行ったし、読書や映画にもそれなりに資金を投じたつもりである。

つまり、私の4年間は奨学金と授業料免除という国の2大恩恵によりきわめて充実したものになったわけである。これをもって国には本当に感謝しているということである。

そのことがずっと気になっていて、なにか国に恩返しをしなくてはならないと考えていた。社会に役立つ研究をすること、人類の進歩に貢献するような発見をすること、国家的災害時にボランティアをすること、などがそれに見合うことに違いない。しかし、研究者にも教育者にもなれず、ボランティアを進んでやる人生も歩んでこなかった。結局なんの恩返しもできなかった。時には、政府が推し進めようとするのを、組合活動の名を借りて反対したこともあった。全然、国に恩義を感じていないかのようである。

しかし、しかしである。積極的な恩返しはできなかったが、社会人としてずっと働き続け、まがりなりにも国に税金を納めてきた。また、なんとか結婚もして子どももできた。彼らはやがて社会を支えてくれるはずだ。

さらに、ここが大事なところなのだが、貯金がないことだ。つまり、入ってきたお金は経済の循環の中に全て還元したということである。物の購入に始まり、飲食、旅行、子どもの教育、それらに全て散財してきた。まったくもって貯め込むことなく、使い続けてきた。

考えてみればこれらは十分すぎるほどの恩返しではないかと思う。自堕落で放埒な人生を送ることもできたわけだが、そうはせずにまるで公務員のような人生を送ってきた。普通の、あるいは平凡な、どこにでもあるような一生を送ることは、それだけで国に貢献しているということだ。若いときはもっとカッコいい恩返しをと思ったが、これで十分なのだとわかったら気が楽になった。

## ■ 研修講座より

### どの子どもも参加でき、わかりやすいと感じる授業づくり

◆9/8（火）学びすっきりプロジェクト②研究主任研修会

講師：上越教育大学 教授 赤坂 真二 様

教師には「どの子どもにもわかりやすい授業をつくらなければならない」という責任があります。そのためには一人一人の学習状況を把握した上で、授業が少しでもわかりやすくなる工夫をすることが必要です。



解決すべきことと方法についての見通しを、やることをワークシートで確認し協働型で取り組む（左記④⑤⑥に対応）

### ■ 第1部 手立て例の紹介

- ① 取り組むべきことがわかりやすくなるよう、指示や発問、発言を**視覚化**する。
- ② 思考する内容を一点に注目させるなど**焦点化**する。
- ③ 一人の子ども**の考えがどの子の学びにもなるよう**役割分担させる等**共有化**する。（**基本的な3つの手立て**）。
- ④ 授業の早い段階で、**安心かつ興味をもって学べるよう**、本時でやることを提示し**見通し**を持たせる。
- ⑤ どの子ども参加しながら思考を高めることができるよう、課題は**選択式、協働型**も検討する。
- ⑥ 集中が途切れても再び意欲的に参加できるよう、導入段階で「問題意識」を持たせ心に授業への「杭」を打つ。
- ⑦ 早く終了した子どものために**次の課題をあらかじめ提示**しておく。
- ⑧ まとめ、振り返りでは、効果的な学びになるよう、互いの良さに触れながら**所属感や自己肯定感**が高まるようにする。
- ⑨ 一斉指示の際も指導が行き渡るよう、立ち位置を変えたりや視線を合わせたりし**特定の子どもへの注意喚起**を行う。望ましい言動を引き出すために、場合によっては正しい言動には反応せず、**正しい行動を待ってみんなの前で評価**する。

### ■ 全国学力・学習状況調査の結果の取り扱いについて（例）

この調査の目的は「一人一人の児童の学力・学習状況調査に応じた学習指導の改善・充実（解説書）」であり、文部科学省通知文には、（通常学級の授業の中でできる範囲で）個に応じた指導を適切に行うよう指示があります。

- ① その際、特に課題が見られた児童生徒に対しては、学習状況の改善や学習意欲の向上につなげていくよう求められています。さらに「学校が指導を行ったと考えていても、そのように受け取っていない児童生徒が一定割合存在することに留意する」という記述があります。
- このことから、**どの子がどの設問に対してどんな思考**（誤答含む）をしているのか、抽出でも構わないのであためてみた上で授業改善を図ることも検討してみてください。
- ② また、**思考力・判断力・表現力等を育成**するため、探究活動を一層充実する。あわせて、自ら**課題を設定**するなどの学習活動を計画的に取り入れる、ともあります。
- このことから、引き続き個々の先生方の良さを最大限生かした、意図的計画的な単元づくりに力を入れていただきたいと思います。授業づくりにおいて、先生方の「子どもをこんな姿にしたい！」「こんな力を身に着けさせたい！」という**ワクワク感や情熱は不可欠**です。

■ 第2部 上越教育大学大学院 赤坂 真二 教授より  
～学び合いは「みんなで賢くなる」という思いがあつてこそ～

ここでは講師の赤坂先生より、どの子どもも参加でき、わかりやすいと感じる授業について、「視覚化」や「焦点化」の重要性について指導がありました。また、課題の文言については、「…を考えよう」よりも「考え、仲間同士で発表し合おう」等、活動がわかる表現で示した方が、活動がわかりやすい、という指導がありました。さらに「かかわり合う」とは「みんなで賢くなること。この目的を失っては単なる活動に終わってしまう」とも語られました。その後、各自で持ち寄った任意の課題を基に授業展開を考える演習も行いました。



赤坂先生ご講義の様子

参加された先生方の感想として「やはり仲間全員で望ましい集団を形成し、その中の一員として自分も成長する中で、どの子どもも学びを深めていくということを改めて感じました」等、どの子どもの学びも保障する最も基本となることを学んだ講話でした。

## どの子ども学びが深まる板書とは？

◆9/17（木）（要請研修）第五中学校校内研修

第五中学校の校内研修では、学びが深まる板書の基本を先生方で出し合ったり、事例に学んだりしながら、以下のような点が先生方から出され、確認し合いました。

■ どの子ども学びが深まる板書とは？

- ① 日付は必ず書く。（過去の学びに立ち返るとき大事）
- ② 課題は大きく。どの子どもにもやるのが分かり、授業が進んでも常に意識できるようにする。
- ③ 色は3色程度。それぞれ何を表すか決めておく。
- ④ 罫線があるかのように。（幾何学的に）
- ⑤ 文字は大きく。一番後ろの子どもでも十分に読める大きさ
- ⑥ 「ナンバリング」や、それらを追うだけで内容が分かる「ラベリング」
- ⑦ 黒板を○分割しておく
- ⑧ めあて～まとめ・振り返りを書く（枠を予定しておく）



演習：板書を書きながらの模擬授業。この後アドバイスをし合いました。

「めあて」と、それに対応する「まとめ」「振り返り」を書く

- ・めあて（例） = これからやろうとすることへのワクワク感を共有することも含む
- ・まとめ（例） = めあてと対応。学習内容について子どもの言葉が使われている
- ・振り返り（例） = 達成感、所属感、次の学びへの希望などが盛り込まれている

- ⑨ 「思考の流れが分かる矢印」や「途中の生徒の発言や考えを書く枠」を書き、学びを時系列に構造化し、一枚に収める。
- ⑩ 心情的な文言を積極的に問い入れる。（吹き出しやキャラクターなども可）

参加された先生方は、子どもの側に立った視点で「どの子ども学びが深まる板書とは？」について考えていきました。当たり前のことでも、学校として全職員で共通して徹底して取り組む姿勢が、子どもや保護者、地域に伝わっていくことが大切だと実感しました。

## ■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

### 資料を登録しました

#### ◆ 柏崎教育情報支援システム

実施日	講座名／資料名
8/20	一日で学ぶ Excel マクロステップアップ講座 Excel マクロステップアップ講座.pdf PDF (第1版) Excel マクロステップアップ講座例題.xlsxm (演習用例題) Excel マクロステップアップ講座マクロ記録例題.xlsxm (演習用例題)

#### ◆ コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
8/21	ALT News Letter 第40号
9/15	ALT News Letter 第41号

## ■ 情報関連講習会のご案内

### 10月に実施される講習会

#### ◆ H27.10.29(木) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その5

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

## ■ 今年度の整備機器のご案内

### 今年度、入れ替え／追加整備される機器

#### ◆ 追加整備機器：ぼうけんくん(各校1セット)



- ・文教用のデジタルビデオカメラですが、HDMI 端子を持つプロジェクタや液晶 TV に、撮影した静止画や動画を簡単に無線投影できるのが特徴で、実物投影機としても利用できます。
- ・投影は専用の無線アダプターを使用するため、HDMI 端子があれば電源投入ですぐ使えます。無線 LAN 環境を用意する必要はありません。
- ・生活用防水 (IPX4 相当) で、屋外でも安心して利用できます。
- ・ボタン類も少なく、情報機器が苦手な先生でも不安なく使えます。
- ・実際に使ってみると、解像度も十分でフォーカスも早く、ストレスなく使えます。
- ・インターバル撮影が可能ですので、動植物の観察など、ゆっくりと移り変わるシーンを記録できます (最長24時間)。
- ・専用のスタンドで書画カメラとしても利用可能ですが、持ち手部分に三脚穴があるため、様々な設置方法が考えられます。

◆追加整備機器:教室用プロジェクタ+タブレット PC(追加台数は学校規模による)



- ・各校のプロジェクタが概ね3クラスに1台になるように、学校規模に応じて追加します。
- ・プロジェクタは、既に整備されている短焦点タイプの後継機ですが、簡易電子黒板機能のないものです。明るさは 3000→3400 ルーメンに若干 UP しています。
- ・タブレットは、従来のもよりひとまわり小さい 10 インチのものです。カメラの性能が実用的なレベルに UP しています。キーボード・マウスは付きません。



- ・スクリーンは、黒板などに貼って利用するマグネットタイプです。82 型ワイドのタイプですので、従来のマグネットスクリーンより大きいものになります。また、無線投影用の WiDi アダプター、無線 LAN アクセスポイントも同じ台数追加されます。

◆入れ替え機器



- ・中学校の PC 教室用 PC



- ・デジタルカメラの一部(H22 導入分の入れ替え、TG-860、15m 防水 2.1m 耐衝撃-10° 耐低温)

■ セキュリティ情報

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、9 月 9 日付で 9 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 5 件、「重要」が 7 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

Windows10 では FOGOS を利用できません

教職員のみなさんが家庭で利用するパソコンを Windows10 にアップデートしたり、新規に Windows10 内蔵のパソコンを購入したりすることがあると思いますが、現状では FOGOS が Windows10 上では動作しませんので注意してください。今のところ対応時期は未定ですので、情報が得られましたら再度ご案内します。

## 第50回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展 審査結果

☆今年度の出品数は158点。各校からのご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年は、海藻やオサムシなど今まで出ていなかった種類の標本が増え、柏崎刈羽地区の動植物の生態がより詳しくなった半面、植物標本の出品数が減少するという状態になりました。各学校での夏休み前の指導はなかなか大変だと思います。来年度のことになりますが、ぜひ、当センターに要請してください。夏休みの科学の学習のお手伝いをいたします。

☆金賞以上の作品についてはぜひ、上位大会（県生物標本展およびいきいきわくわく科学賞）への出品をお願いします。

賞	特別賞	部門	小部門	学校名	学年	氏名	題目
金	柏崎市長賞	昆虫		県立柏崎翔洋中等教育学校	2	山崎 智晴	柏崎地域を中心としたカミキリムシ及び蝶の標本
金	刈羽村教育長賞	植物	海藻	柏崎市立第三中学校	2	近藤 梨乃	柏崎の海藻標本
金	柏崎市立教育センター賞	植物	海藻	柏崎市立米山小学校	6	近藤 真央	海藻標本
金	柏崎商工会議所会頭賞	昆虫		柏崎市立荒浜小学校	4	石野 和磨	昆虫採集
金	柏崎市立博物館賞	昆虫		柏崎市立比角小学校	6	山崎 開智	柏崎の昆虫
金	柏崎市教育長賞	貝		柏崎市立半田小学校	5	矢代 和	柏崎・刈羽の貝
金	新潟工科大学賞	スケッチ・ 自然科学写真など	観察 記録	柏崎市立比角小学校	5	湯本 佳奈	スズムシの生育観察記録
金	柏崎青年工業クラブ賞	スケッチ・ 自然科学写真など	調べ学習 など	柏崎市立鯖石小学校	5	澤石 庸之介	かぶと虫のさなぎ室のひみつ

### 【研修会・事業の様子】

#### ○ プラネタリウムで授業を！（小6）②

- ◇日時 8月20日（木） 15：30～
- ◇会場 博物館
- ◇講師 鯖石小学校教頭 土佐 和久様  
博物館 佐藤 俊男 学芸員

#### ◇内容

博物館のプラネタリウムを活用し、小学校6年生の「月の形と太陽」の単元の模擬授業を行いました。本来であれば月や太陽は操作できないものがありますが、プラネタリウムを活用することで、月の満ち欠けの仕組みや太陽との関係について、視覚的にとらえながら学習することができます。プラネタリウムを教師が動かし、授業でどのように示していくのかを考えながら研修することができました。



自作教材を紹介する土佐先生

## ○ 科学研究応援プロジェクト 名前調べ会

- ◇日 時 8月23日(日) 10:00～
- ◇会 場 ソフィアセンター
- ◇内 容

植物、昆虫、貝の専門家の講師をお招きし、標本の同定をしていただきました。会場は参考作品展も同時開催しており、昨年度の作品展での優秀作品や見本となる標本と見比べながら順番を待つ家族も見られました。



家族で専門家の先生から名前を  
教えてもらう



上：わんがけした火山灰を観察

下：石膏で作った噴火モデル

## ○ 中1「大地の変化」

- ◇日 時 8月24日(月) 9:30～
- ◇内 容

生徒実験も可能な簡単火山噴火モデルを作りました。石膏や洗濯のりなど手に入りやすい材料で、マグマの粘りの違いによる山の形を再現しました。石膏で作った噴火モデルですので、その後の展示も可能です。また、SK030(魚沼層)や聖ヶ鼻の火山灰など、いくつかの火山灰を観察し比較する実習も行いました。SK030からは、わんがけした後、堇青石を見つけることができ、生徒にも興味をもたせながら取り組めるのではないかと検討しながら、研修をすることができました。

## ○ 活用事例から学ぶデジタル教科書 ～理科(小・中)～

- ◇日 時 8月28日(金) 15:00～
- ◇内 容

デジタル教科書等のICT機器は「学びの視覚化、焦点化、共有化」という3点がそろっています。研修では、小学校、中学校それぞれのデジタル教科書の特徴を出版社の方から学び、実際に授業で活用するとしたらという視点で授業実践例を考えました。その後、実際に模擬授業を行い、デジタル教科書をどのような場面でのどのように活用すると効果的なのかを学びました。効果的な場面を考えて、デジタルとアナログを巧みに使っていくと良いと感じました。

## ○ プラネタリウム操作技能習得講座②

- ◇日 時 9月12日(土) 15:00～
- ◇会 場 博物館
- ◇講 師 教育センター副所長 山田 智  
博物館 佐藤 俊男 学芸員
- ◇内 容

博物館にあるプラネタリウムの投影技術を身に付け、子どもたちや市民に向けて、星空解説ができるようになることを目的として行いました。プラネタリウムの操作方法を知ること、星の説明内容が広がります。次回は11月28日(土)です。



操作盤を確認しながら星を投影する

## ○ プラネタリウムで授業を！（中3）③

◇日時 9月15日（火） 15:00～

◇会場 博物館

◇講師 教育センター副所長 山田 智 博物館 佐藤 俊男 学芸員

◇内容

博物館のプラネタリウムを活用し、中学校3年生の「地球と宇宙」の単元でどのように活用すると効果的なのかを研修しました。授業を進めるうえで、太陽や星は都合の良い時間に見せるのが難しいと感じる単元ではありますが、プラネタリウムを活用することで、天体の動きを視覚的にとらえながら学習することができます。実際にプラネタリウムを動かし、授業でどのように示していくのかを考えながら研修することができました。



学習での使い方を考えながら操作を研修する

## <要請研修・研修サポート>

### ○ 鯖石小学校 星空観察会



トイレットペーパーで宇宙の歴史を勉強する

◇9月1日（木）実施

あいにくの天候であったため、体育館の中で体験的な星空観察会を行いました。ボールを振り回すことで太陽系を中心とした惑星の公転速度の違いを体験してみたり、トイレットペーパーを伸ばしながら宇宙と地球の歴史を学んだりしました。また、プラネタリウムや iPad を使った疑似体験を行い、星空への関心を高める会になりました。

### ○ 比角小学校 科学クラブ

◇「ペットボトルロケット」9月1日（火）、15日（火）実施

円柱型のペットボトルが2つあれば、ロケットを打ち上げられます。本格的な発射装置がなくても、市販の空気入れをちょっと工夫するだけでOKです。風の抵抗は受けましたが、クラブの子どもたちが作ったロケットも勢いよく飛ばすことができました。



発射のタイミングは突然でした



露頭の縞模様を観察します

### ○ 比角小学校 地層観察

◇9月2日（水）実施

6年生「大地のつくり」の学習で、聖ヶ鼻駐車場と米山海岸の露頭を観察しました。あいにくの天候であったため、現地での観察が少なくなりましたが、砂岩泥岩互層や礫岩、凝灰岩を観察し、大地の成り立ちについての学ぶことができました。

## 【10月の研修会のご案内】

### ○ 秋の植物観察会

- ◇日 時 10月20日(火) **14:30**～16:45 (時間が変わりました)
- ◇会 場 市野新田周辺 (集合 教育センター駐車場)
- ◇講 師 柏崎植物研究グループ 相澤 陽一 様
- ◇内 容



秋の野山を散策しましょう。今年は鶴川地区を散策します。秋の身近な植物を観察しながら、地域の自然に親しみましょう。市野新田に建設中のダム周辺も散策します。現在の植物、ダム建設後の植物を継続的に観察することもよいかと思えます。

### ○ 秋遊びと虫取り

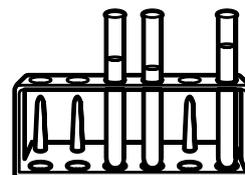
- ◇日 時 10月15日(木) 15:00～16:45
- ◇会 場 夢の森公園 (集合 教育センター駐車場)
- ◇内 容



どんな虫がどんなところにいるのかな？先生方も子どもの気持ちになって秋を楽しみましょう。また、身のまわりの草花を使って遊んだり、自然物を使ってものづくりをしたりします。遊びを通して秋を感じたり、自然の不思議に興味をもったりする機会を児童に味わわせることができるヒントが得られること間違いなし。

### ○ 小6「水溶液の性質」

- ◇日 時 10月28日(水) 15:00～16:45
- ◇講 師 田尻小学校教諭 佐藤 隆雄様
- ◇内 容



水溶液の変化や働きをその要因と関係付けながら調べ、見いだした問題を多面的に追究する活動を行います。物の性質や働きについての見方や考え方を育てるための実験の準備や、指導方法について研修します。

## 第50回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

- ◇日 時 10月5日(月) 13:00～
- ◇会 場 **アルフォーレ (昨年度と会場が変わります)**
- ◇内 容 小中学生が夏休みに取り組んだ科学研究の成果を発表する場です。多くの皆さんからの参加をお待ちしています。参加してくれた児童生徒さんには記念バッジが贈られます。今年のバッジも素敵な仕上がりです。
- ◇申し込み方法
  - 9月 24日(木) 学校ごとにメールで発表者申し込み
  - 9月 28日(月) 職印文書と研究概要(A4・1～2枚 150部) センター必着
  - 10月 1日(木) PCデータを使用する場合は、CD-Rでセンターへ提出
- ◇その他 子どもたちのがんばりを当日たくさんの方に見てもらいたいと思います。学校を代表して発表する児童生徒のおうちの方にもご連絡ください。(発表研究数が決まり次第、発表順とおおよその発表時間をメールにてお知らせします。)



# 心の窓

No.193

〒945-1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp

## 学校訪問相談

&lt;教育相談&gt;

学校訪問相談では、主に、下記の相談を実施しています。

### 1 定期学校訪問相談

年1回、柏崎市内外全小中学校を訪問しています。小・中学校を合わせて平均すると、今年度は相談内容の割合は下記のようにになりました。

※( )内は昨年度数値

相談内容	特別支援 (通常学級在籍)	不登校傾向 不登校	学級経営 学習指導	生徒指導	特別支援 (支援学級在籍)	その他
件数	21件(26)	14件(22)	6件(7)	3件(4)	5件(5)	2件(1)
割合	41%(40)	27%(34)	12%(11)	6%(6)	10%(8)	4%(1)

全体としては、「不登校傾向・不登校」が減ったものの、ほぼ昨年度と似た割合の相談内容になりました。小中別では、昨年度同様の傾向が見られましたが、小学校での「通常学級在籍の特別支援」の相談件数が5割を超えました。その中には、「学級経営・学習指導」とのかかわりも見られ、対応に苦慮していることが伺えました。

一方、中学校では、「不登校傾向・不登校」の相談件数がほとんどになり、6割近くになりました。中でも、相談対象生徒の欠席が長期に及ぶものがあり、深刻化しているケースや発達の特性に起因するケースも見られました。

また、学年別にみても、小学校では、昨年度は低学年児童の相談がやや多かったのに対し、今年度は、高学年児童の相談が半数近くになり、昨年度より3割近く増加しました。これは、低・中学年で問題の様相は現れてはいたものの、高学年になりより顕著化をしてくているのではないかと考えられます。

中学校においては、昨年度同様2年生についての相談が6割を超えました。これは、1年生の夏休み以降に芽を出し始めたものが、2年生になりより顕在化をしてくているのではないかと考えられます。

何れにしても、どの学校においても先生方は、諸問題に対し正対し、一生懸命に取り組んでおられ、その成果が見られました。また、取り組み方も、校内体制の整備がなされてきて、全職員でという姿勢がどの学校にも見られ、校内組織を機能させた学校体制づくりが一段と充実してくているのを感じました。今後も、学校体制のもと、個々のケースに合わせたきめ細かな対応をお願いしたいと思います。

### 2 要請学校訪問相談・同道学校訪問

定期訪問と並行して、要請訪問や同道訪問を実施しています。要請訪問は、通常学級に在籍する特別支援を要する児童・生徒への対応と学級経営、授業改善等を主眼に置いています。もちろん、どんな相談でも構いません。気楽にご利用ください。

同道訪問は、教育センター利用児童生徒にかかわる学校職員、教育センター担当カウンセラー・ふれあいルーム指導員・訪問相談員、元気館や主任児童委員等で協議します。情報を共有し、それぞれが今後の具体策を検討し合います。

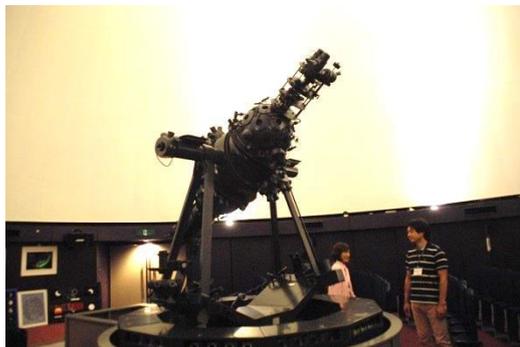
**電話・メール等で連絡いただければ、訪問させていただきます。(派遣申請等の書類は不要です)**

(文責 学校訪問相談員 春川 稔)

## ☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

### 《柏崎市立博物館見学》

9月16日(水)、ふれあいルームの通級生で柏崎市立博物館へ見学に行きました。まずはプラネタリウム鑑賞です。私たちが見せていただいたのは、オーロラをテーマにしたプログラムでした。半球体のスクリーンならではの立体的な映像で体が宙に浮いているような感覚になります。そんなスクリーンでオーロラが発生するメカニズムや美しい大自然や音楽を鑑賞して、みんな感動していました。



プラネタリウム鑑賞を終え、博物館で開催中の第50回児童生徒科学作品展を見学しました。会場いっばいに市内の小中学生による標本や研究の成果がたくさん展示されています。美しく並べられた昆虫標本に、普段は虫嫌いな通級生も思わず「きれい！」と声を上げていました。同年代の子どもたちの研究成果に興味を持って、熱心に見たり読んだりしている通級生を見ると、君たちにもまだまだできることがあるはず、展示している子どもたちと同じくらいのエネルギーがあるはずだという思いが、私たち指導員の中にも込み上げてきます。ふれあいルームの子どもたちも輝けるような支援をしていかなければいけないと改めて考えさせられました。

その後、常設展を観覧し、柏崎の自然や歴史について学びました。特に福浦猩々洞のコウモリの展示では、市のシンボルマークに使われていても、普段近くで見ることの無い実際のコウモリの標本や展示をみんなでじっくりと見ることができました。

さわやかな初秋の一日、有意義な体験活動を行うことができました。



(ふれあいルーム指導員 寺澤朋法)

## 教育相談班 10月の予定



### 《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- |        |             |           |
|--------|-------------|-----------|
| 2日(金)  | 16:30~17:30 | 小学生Aグループ  |
| 9日(金)  | 16:30~17:30 | 小学生Bグループ  |
| 16日(金) | 16:30~17:30 | 小学生Cグループ  |
| 22日(木) | 18:30~20:00 | 中学生第1グループ |
| 23日(金) | 18:30~20:00 | 中学生第2グループ |

### 《ふれあいルーム》

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 5~8日(月~木) | 学校訪問            |
| 9日(金)     | 前期通級終了日         |
| 13日(火)    | 後期通級開始日         |
| 14日(水)    | ソフィアセンター        |
| 23日(金)    | 陶芸教室①8:30~15:20 |

10月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	木	
2	金	研: 21世紀型授業の構想 14:30- 相: いろいろ体験グループ小A 16:30-
3	土	育: 子ども・若者育成支援強護月間啓発活動 育: 小学校PTA育成活動
4	日	
5	月	科: 第50回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会 13:00-(アルフォーレ) ふ: 学校訪問
6	火	研: 不登校コンサルテーション15:30- 育: 下校育成活動(柏崎駅周辺) ふ: 学校訪問
7	水	ふ: 学校訪問
8	木	ふ: 学校訪問
9	金	ふ: 前期通級終了 相: いろいろ体験グループ小B 16:30-
10	土	
11	日	
12	月	体育の日
13	火	ふ: 後期通級開始
14	水	ふ: ソフィアセンター10:00-
15	木	研: 小学校外国語活動授業公開 14:00-(比角小学校) 科: 生活科 秋遊びと虫取り 15:00-
16	金	研: 柏崎学 13:45-(集合: 柏崎市役所教育分館前) 育: 夜間育成活動 相: いろいろ体験グループ小C 16:30-
17	土	
18	日	
19	月	相: 班会議13:00-
20	火	研: 学びすっきりP柏崎カリキュラムシート活用研修② 科: 秋の植物観察会 14:30-(市野新田)
21	水	
22	木	研: 枇杷島小学校(特別活動)指定研究発表会 9:30- 相: いろいろ体験グループ中① 18:30-
23	金	ふ: 陶芸教室①柏崎駅発8:56-柏崎駅着15:07 相: いろいろ体験グループ中② 18:30-
24	土	
25	日	
26	月	育: 昼間育成活動
27	火	研: 授業づくりゼミ② 研: 保護者相談対応の基礎
28	水	研: 養護教諭のための授業づくり講座① 科: 小6 水溶液の性質 15:00-
29	木	情: フリー-Q&A
30	金	
31	土	
研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修 育・育成センター		



所 員 随 想

## 秋になると

教育研究班(科学) 阿部美江

早いもので柏崎に引っ越して来てから今年で17年目になりました。美しい海や山々に囲まれ、たくさんの自然に恵まれた柏崎は本当に素晴らしいところだなあと感じます。でも、あの暗くてどんよりとした長い冬だけは…、洗濯物も布団も干せない、外にも出られない、ものすごい音の雷や激しい風。毎年秋になるとちょっと憂鬱な気分になってしまうのでした。

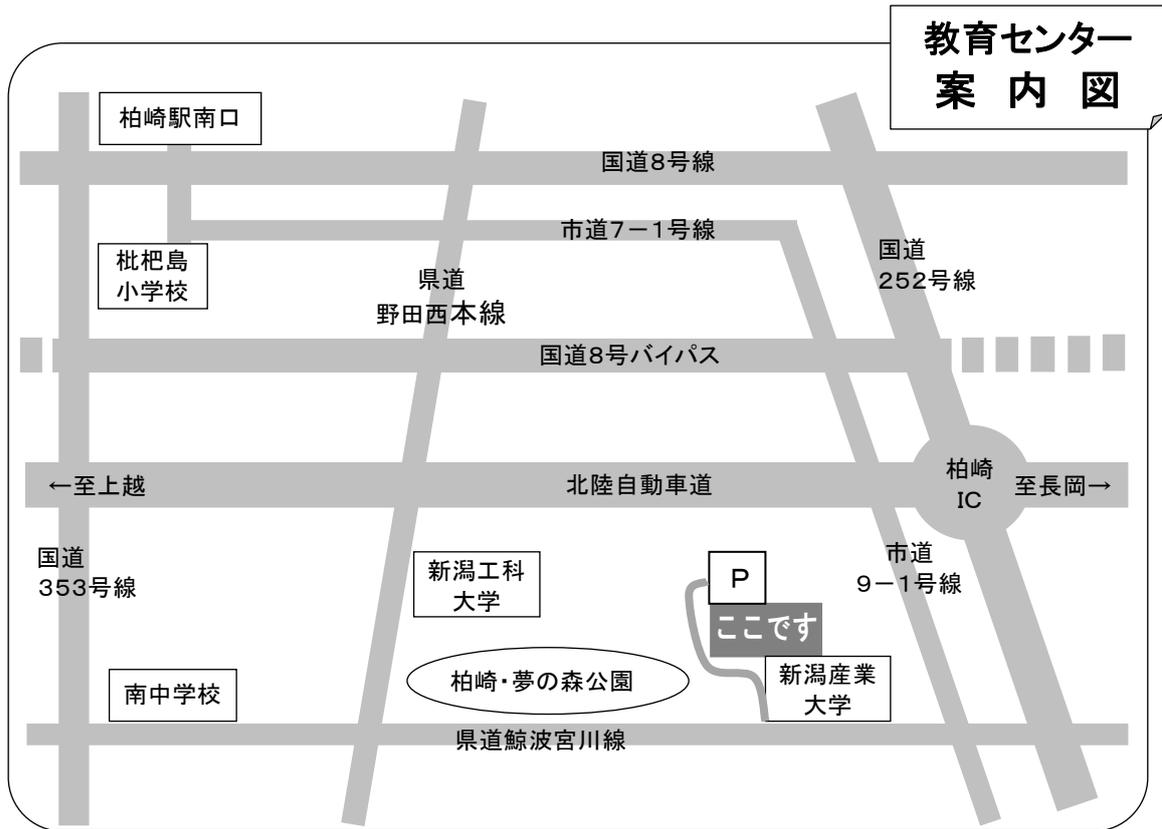
ところが、数年前、家で薪ストーブを使うようになってからは一転、秋になるとなんだかワクワクするようになったのです。

夫から家の暖房を薪ストーブにしたいと提案されたとき、きっと毎日の火起こしや灰の始末は私がすることになるのだろうな、やっぱりスイッチひとつですぐ暖まる暖房の方がいいなと思ったのですが、夫の熱意に負けて断念。

それが、実際使ってみると、なんと薪ストーブのじんわりとした心地よい暖かさは格別で、ガラス越しに揺れる焰を見ていると自然と心が和み、時間が経つのを忘れてしまいます。ストーブで沸かしたお湯で入れたコーヒー、中で焼いたピザやお魚は最高に美味しいのです。夫よりも私の方がはまってしまったようです。

このところ朝夕だいぶ涼しくなり、木々も少し色づいてきました。さて、今年は薪ストーブでどんなお料理をしようかななど思いを巡らせながら、やがて来る冬を楽しみに今薪づくりに汗を流しています。

## 教育センター案内図



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

### 教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小中学校で使用している教科書のほか、全教科書会社の小中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができるほか、小・中学校の教科書は貸し出しも行って

います。  
教育センター研修講座等のついでに、お気軽にご利用ください。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.lg.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（いじめ不登校電話相談）

TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.lg.jp

教育情報支援システムURL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成27年9月発行